

令和5年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、自然体験指導者（NEALリーダー）を養成することにより、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を育成する。

2. 事業の概要

(1) 期日

前期：令和5年5月20日（土）～5月21日（日）1泊2日

後期：令和5年6月3日（土）～6月4日（日）1泊2日

(2) 参加者

① 募集対象・人数

自然体験活動の指導者になりたい、あるいは興味・関心のある方 20人程度

② 参加人数

前期4人（大学生2人、社会人2人）

後期17人（大学生13人、社会人4人）

(3) 講師等

前期：1日目

講習①「青少年教育における体験活動」

講師：青山 鉄兵 氏（文教大学 人間科学部 人間科学科 准教授）

講習②「自然体験活動の安全管理」

講師：井上 桂 氏（下関市深坂自然の森 森の家下関 所長）

前期：2日目

講習③「自然体験活動の技術」

講師：河本 潤（国立吉備青少年自然の家 主任企画指導専門職）

後期：1日目

講習④「自然体験活動の特質」

講師：西村 典芳 氏（流通科学大学 人間社会学部 観光学科 教授）

講習⑤「対象者理解」

講師：石川 順雄 氏（尾道市立栗原小学校 校長）

後期：2日目

講習⑥「自然体験活動の指導」

講師：蓬田 高正 氏（天理大学 体育学部 体育学科 准教授）

講習⑦「自然体験活動の技術 その2」

講師：河本 潤（国立吉備青少年自然の家 主任企画指導専門職）

(4) 企画・運営のポイント

- ① 前期日程をボランティア養成研修と合同で実施することで、両方の資格を取れるようにした。
- ② 6つの大学で直接広報を行い、野外活動での安全管理や指導法について学びつつ、永年資格が取れることを広く周知した。
- ③ 修了試験後のガイダンスで、NEAL リーダー資格取得後に関する情報提供を行った。〔当所事業の案内や上位資格（インストラクター）の取得に向けての講習会情報や履修方法等〕

3. 活動の内容等

(1) 日程

① 前期

5月20日(土)		5月21日(日)	
9:30	受付	6:15	起床・洗面・清掃
10:00	開会式・ガイダンス	7:15	朝のつどい
10:30	講習① 「青少年教育における体験活動」	7:30	朝食
12:00	昼食	9:00	講習③「自然体験活動の技術」 (野外炊事)
13:00	アイスブレイク	13:00	閉会式
14:00	講習②「自然体験活動の安全管理」	13:15	解散
17:15	夕べのつどい		
17:30	夕食		
18:30	入浴		
20:30	情報交換会		
22:00	就寝		

② 後期

6月3日(土)		6月4日(日)	
13:00	受付	6:15	起床・洗面・清掃
13:30	ガイダンス	7:15	朝のつどい
14:00	講習④「自然体験活動の特質」	7:30	朝食
17:15	夕べのつどい	9:00	講習⑥「自然体験活動の指導」
17:30	夕食	10:30	講習③「自然体験活動の技術」
18:30	講習⑤「対象者理解」	12:30	昼食
20:00	入浴	13:30	まとめ
21:00	情報交換会	14:00	修了試験
22:00	就寝	14:30	閉会式・ガイダンス
		15:00	解散

(2) 活動の状況

① 前期



【青少年教育における体験活動】



【自然体験活動の安全管理】



【自然体験活動の技術】



【自然体験活動の技術】

② 後期



【自然体験活動の特質】



【対象者理解】



【自然体験活動の指導】



【自然体験活動の技術】

4. 成果・課題

(1) 満足度

前期 満足：100%

後期 満足：94% やや満足：6%

(2) 参加者の声

- ① 活動の意義を理解するために、講義を聞くだけでなく、実際に体験することの重要性を感じられた。
- ② ワークを通して、自分に足りないものや目指すところが明確になった。
- ③ まずは自分の言葉で書いて、それを共有する中で、自分の考えを深めたり、自分にはない考え方を吸収出来たりするのがよかった。
- ④ 楽しい活動の中にも、危険なこと、気を付けなければならないこともあることを学んだ。
- ⑤ NEAL リーダーの役割といっても人それぞれ考え方が違う部分があることを学んだ。基本のあるべき姿をしっかりと押さえたうえで、自分の理想の姿になれるよう頑張りたい。

(3) 成果

- ① 前期日程をボランティア養成研修と合同で実施し、ボランティア養成研修のみの講義を1日目の夜以降に実施したことで、NEAL リーダー受講者のうちボランティアに興味がある人はボランティア養成研修の講義も参加してもらい、法人ボランティア登録をすることができた。
- ② 自然体験活動指導者として必要な知識や技能について、大学生から実際に自然体験活動に関わっている方など、さまざまな立場の人たちと意見交換をすることができ、体験を通して自然体験活動に関する理解を深められた。
- ③ 全参加者がNEAL リーダーの修了試験に合格することができた。

(4) 今後の課題

昨年、当事業の受講者でボランティアに興味を持つ人が多かったため、今年は当日でもボランティア養成研修を受講できるよう活動日程を変更したことにより、指導者として実践する場につなげることができた。しかし、その分当日の対応については煩雑となったため、来年度に向けてレストラン職員も含め検討する必要がある。

担当：企画指導専門職付 角田 怜那